

令和 6 年度 学校関係者評価実施用紙

学校番号	100	学 校 名	沼津市立沼津高等学校・中部	記 載 者	田中 剛
------	-----	-------	---------------	-------	------

評価	基 準	評価	基 準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組

取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
地域や保護者との連携協力による安全安心な学校づくり	・ 交通事故前年比 10%減 昨年 11 件→1 件	B	A	
	・ ネット依存度テストを行い、本校の依存傾向と結果を踏まえ、SNS の使い方等について講演会を行った。	A	A	
	・ 防災講座の開催 各学年で実施 ・ 第五校区防災連絡協議会の開催と地域防災への貢献向上 地区防災参加率 80%以上 →昨年度 22.5% から 44.5%に。	B	A	安全安心な学校生活や地域での生活を起こることができる。
	・ 体罰・ネットトラブル 0 件 →0 件	A	A	
自ら学び自ら進路を切り拓く生徒の育成	・ 中高 6 年間の進路シラバスの活用と改定 ・ 生徒の進路希望に応じたキャリアガイダンス、進路講座の実施	B	B	できるだけ具体化した夢実現を意識させたい。
	・ 外部模試と ICT を活用した学習課題の把握 ・ 学力向上委員会の分析結果の活用	B	B	
	・ 新教育課程の編成 高校 2 年生より G 理コースを設置し、生徒個々の進路希望により一層応えられるようになった。 ・ 中学校の評価方法を生かす高校観点別評価の研究 →毎学期各教科で会議を開き、よりよい観点別評価になるよう検討してもらった。	A	A	新教育課程の編成についてはメディアでも取り上げられるなど、画期的であり 1 つの特色につながっている。
	・ カリキュラム・マネジメントの推進 校内研修では課題設定コーチング、AL 授業月間、英語教育セミナー報告会、中高一貫校としての学校経営について、クロスカリキュラムの授業を中心とした AL 公開授業および授業検討会等を行った。	A	A	
	・ 学校行事の教育効果の検証と精選 修学旅行満足度→高校 92% 中部 99%	A	A	世界を体感できる旅行の継続を希望する。
	・ 国公立大推薦対策、多面的総合評価への対応・英語外部検定試験等に対する対策	B	B	
	・ AL 授業の実施 授業への取入れ割合 100% ・ 都市立高校等合同研修 20 人以上→14 人参加 先進校視察 5 校以上 県外 2 校視察	A	A	

様式第4号

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
文武芸の三道鼎立で人間力を磨く逞しい生徒の育成	・制服を正しく着こなし、さわやかな挨拶、清掃ができる生徒の育成 挨拶清掃がしっかりできる 70.0%→59.8% ・主体的な生徒会活動への支援と生徒会行事 学園祭生徒満足度 98.1% →98.2% ・部活動、生徒会、ボランティア活動、進路指導等を通してやり抜く力を身につける。 ・高校1年生転部 3名 ・学校自己評価アンケートより Q生徒達は、部活動や校外での活動に対して主体的に取り組んでいる 79.8% 共通テスト受験者 80.9% →77.2% ・部活動の効率的な指導法の研究 部活動ガイドラインの周知と見直し 部活動休日 週1回 平日1回の実施 ・地域貢献活動の奨励 ボランティア参加人数 54名 この他に、クラスでの呼びかけに個人で登録・参加している生徒が複数いた。 ・市役所から依頼のあったボランティア活動へ2部活が参加。	B	B	地域貢献については高校生も社会の一員であり、社会の創りてであるという観点から、どんどん外に出て行ってほしい。
	・読書指導と探究活動を支える本のレファレンス ビブリオバトル校内大会実施	B	A	
持続可能な沼津市の未来を創生するグローバル人材の育成	・沼津市の企業の方への職業インタビュー	A	A	
	医療看護講座の充実・医療関連施設等見学・介護体験 →リハビリ職講座等追加	B	B	
	・エンパワーメントプログラム→未実施 ・国際理解講座の開催年間2回 →海外修学旅行、授業内で実施 ・海外姉妹校提携、オンライン英会話学習の導入研究→継続研究	B	A	
中高一貫の強みを生かした学校改革・働き方改革の推進	・自尊感情を高める指導の研究 振り返りシート カウンセリング室だより年10回 →10回 ・不登校対策 できたことノートの実践と研究 ・6年間で生徒を育てるための教員の人事交流、研修等の実施 ・シニアティーチャー →生徒が主体的に実施 ・高校模擬授業、高校教員の面接の実施 ・難関大対策講座の充実 →個別指導実施 ・ドリームマップの活用	A	A	魅力ある取組を実施している。企業等の連携をさらに進めてほしい。
	・PTA役員会の効率的運営 ・PTA地区会の質的改善	B	B	
	・本校からの情報発信の充実 毎月、本校行事に関する記事をローカル紙への提供 ・地域及び小中学校への情報提供	B	B	沼津市のパイロットスクールとして、ポストコロナを意識した取組がなされている

様式第 4 号

取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
	市沼新聞、A L T 通信 H P で代替			る。
	・割振、振替の徹底 概ねできている ・夏期休業中の休暇取得促進日の設定 ・部活動休日週 1 日完全実施 休暇取得促進日の取得 100% ・体験入学の等の改善	A	A	
	・定時退勤日の設定 毎週月曜日に設定	B	B	